



# 海の声

『「～合い」で伸ばす「自己との対話」「他者との対話」を自己実現に!』

天草市立御所浦小学校 学校通信

R7年3月21日版

文責 校長 木場 正敏

令和6年度も月曜日の卒業証書授与式を残すのみとなりました。  
本年度の本校教育へのご理解・ご支援に感謝申し上げます。  
誠にありがとうございました。



6年生の卒業制作、ありがとうございました。



6年生の皆さんから卒業制作として、渡り廊下にすてきな絵のプレゼントをいただきました。5、6年生の頃の学級マスコットと御所浦の海を泳ぐイルカ。天草でも最も長い渡り廊下が華やかになりました。校舎側から見える体育館横の渡り廊下です。卒業生の皆さん、ありがとうございました。来校された際には是非ご覧ください。

地域学校協働活動ありがとうございました。

本年度も地域学校協働活動がとても充実していました。イルミネーションの取組、海に関する取組、福祉についての活動、地域の皆さんから御所浦について教えていただく活動、学校の畑での栽培の指導、朝の読み聞かせ活動、そして放課後子ども教室の活動・・・本当に御所浦の皆さんの子どもたちへの愛をいつも感じています。ありがとうございました。令和7年度もよろしくお祈りします。

本日は、修了式でした。1学期、2学期の最後の日には終業式ですが、1年間の最後は「修了式」です。「修了」とは、「決められた学習を終える」という意味があります。ですから「修了式」とは一年間その学年の学習を終わった・身につけたということを確認合ったり、祝ったりする式です。本日も配付した通知表には、修了証がついています。これが、1年間子どもたちがしっかり成長した、しっかり学んだという証です。子どもたち一人一人の伸びや輝いた場面がたくさんあった一年間であったと思います。それも保護者の皆さんが学校の教育にご支援・ご協力いただくだけでなく、学校の教育活動を意識してくださりながら、子どもたちの健全な成長のために絶えず声かけをしてくださったからこそだと思います。

本日の修了式では、2つのことを中心に子どもたちには話しました。

1つ目は、「思いやりの心」を大切にすることについてです。「相手意識を持った挨拶をしてほしい」、「言葉を選んで、友だちを大切にしてほしい」「困っている人がいたら助けてほしい」の3つを例に挙げましたが、先日の人権集会や児童総会での皆さんの意見の中にこのことを意識してくれているなど感じるものも多く、さすが御所っ子と感じたところでした。

2つ目は、「学びの充実」についてです。「自分から目標を立てて学びにチャレンジすること」が意識できてきたなど感じています。授業の様子をよく見せてもらっていますが、とても意欲的で、積極的な姿が素敵だなと思ってみえています。「失敗」をおそれずにチャレンジして、「頑張ること」ができてるのは学級の学びや生活の雰囲気があたたかいからだと思います。

最後に、土日を挟んで月曜日は6年間の小学校を卒業し、中学校に進学する6年生のみなさんの卒業証書授与式となります。卒業の「卒」という漢字は「終わり」という意味があります。「業」という漢字には「なすべきこと」という意味があります。小学校でのなすべきことをすべてやりとげたということを祝う式が「卒業証書授与式」です。6年生の皆さんは相手意識を大切に学級の雰囲気、自分たちの色・個性を尊重する気持ち、自分たちで学びを作り上げようとする姿勢が、御所浦小をさらに前に進めてくれました。本当にありがとうございました。すばらしいリーダーでした。感謝の気持ちを大切にしながら、小学校全体で6年生の最後の授業を最高の思い出となるようにしていきたいと思っています。

保護者の皆さん、地域の皆さん、本年度の本校教育へのご理解・ご支援に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。いつも「子どもは宝」というあたたかい気持ちをピンピン感じています。

令和7年度もよろしくお祈りします。